

質量計（非自動はかり）の検定申請について

質量計（非自動はかり）の検定については、検定を円滑に実施するため、下記により検定申請してください。

記

1 日程調整

検定希望日から2週間以上前に、必ず当課と電話等で日程調整してください。

2 検定申請

検定実施日の決定次第、検定実施日10日前までに、下表の検定申請関係書類等を当課宛て提出してください。

なお、上記期限までに申請がない場合は、「検定申請取消し」と判断します。

検定申請関係書類等	備 考
検定申請書	1部提出。
検定手数料	・検定手数料と所在場所検定費用の合計額を静岡県収入証紙によりお支払いください。 ・静岡県収入証紙は、一般財団法人静岡県計量協会等静岡県収入証紙売りさばき所にて購入できます。 ・検定申請者が、一般社団法人静岡県計量協会に静岡県収入証紙代金を預託している場合は、この限りではありません。
質量計(非自動はかり) 検定申請の詳細	・旧基準（H・M・O級）は、別紙1を提出。 ・新基準（I・II・III・IV級）は、別紙2を提出。
型式承認の図面等の写し	型式承認番号、表示部と検出部の組合せ表、外観図、銘板図、封印する場所と方法の分かるもの（原則として、型式承認の図面の写し）。
修理(作業)報告書等の写し	<u>修理による検定の場合は、今回の修理内容(概要)が確認できるものを提出する。</u>
型式承認事業者が製造を行った旨の証明書の写し	<u>検定が製造によるものであり、かつ、検定申請者が型式承認を受けた者と異なる場合のみ提出する。</u>

3 申請に当たっての注意事項

- (1) 型式承認番号がないはかりは、当所では、検定できません。
- (2) 同型機種種の製造販売等に伴う反復的な持ち込み検定の場合は、検定申請関係書類が整っていれば、上記1、2によらず、直前の電話連絡及び申請でも差し支えありません。

4 検定当日の準備事項（※当所への持ち込み検定は除く。）

検定当日は、はかりの電気回路等内部温度を整え機能を安定させるため、その仕様に応じて、検定前まで必要な時間（できれば1時間以上）充分通電（ウォームアップ）してください。

また、充分に通電した後、ひょう量に相当する予備負荷（分銅荷重）をしてください。この予備負荷（分銅）は、検定員の指示を待って、検定開始直前はかりから降ろしてください。（※予備負荷は、JIS B 7611-2:2015 附属書 JA の検定規定上は必須ではありませんが、同 JIS の A. 4. 1. 10 に則り実施を推奨します。）

静岡県計量検定所 検定課

電話番号 054-278-8311

FAX番号 054-278-5479

(2019. 8. 16)

(別紙1)

質量計（非自動はかり）検定申請の詳細

旧基準（H・M・O級）用

1 申請者等

申請者	名称	
	担当者	
	電話番号	
使用者	名称	
	設置場所	
	電話番号	

2 はかりの詳細

はかりの種別	トラックスケール ・ トラックスケール以外のはかり		
種類		型式承認番号	第D号
製造事業者		精度等級	H・M・O級
器物番号		はかりのメーカー型式	
製造年	年	前回修理年月※	年 月
ひょう量		目量	
使用範囲	～		
指示計の型番		ロードセルの型番	
荷重受け部の支持点の数 (トラックスケール以外のみ)	点	風袋引き機能	有 ・ 無
使用する場所の 使用地域の区分	区	(重力加速度の大きさ)	m/s ²
検定する場所の 使用地域の区分	区	(重力加速度の大きさ)	m/s ²
トラックスケールの場合、 指示計の位置から載せ台の 状況が見えるか否か	直視できる ・ モニタで見られる ・ 見えない		

※ 過去に修理している場合、前回修理年月を記入する。(修理年月が不明の場合は、記入省略可。)

3 検定予定日時・場所等

検定予定日時	令和 年 月 日 (曜日) :		
検定予備日	不要 ・ 必要 [令和 年 月 日 (曜日) :]		
検定場所			
待合せ駅・場所	_____ 駅 ・ 現地	待合せ時間	:

4 修理内容（※修理検定の場合、今回の修理内容を記入する。）

修理内容 (概要)			
※部品等交換がある 場合のみ記入する。	交換部品名等	交換前の型番	交換後の型番

(注1) 申請時点での修理内容で構いません。

(注2) 「修理(作業)報告書」の写しを提出してください。

(2019.8.16)

質量計（非自動はかり）検定申請の詳細

新基準（1・2・3・4級）用

1 申請者等

申請者	名 称	
	担 当 者	
	電話番号	
使用者	名 称	
	設置場所	
	電話番号	

2 はかりの詳細

はかりの種別	トラックスケール ・ トラックスケール以外のはかり		
種 類		型式承認番号	第D 号
製造事業者		精度等級	1・2・3・4級
器物番号		はかりのメーカー型式	
製造年	年	前回修理年月 ※1	年 月
ひょう量		目 量	
荷重受け部の支持点の数 (トラックスケール以外のみ)	点	最小測定量	
指示計の型番		ロードセルの型番	
風袋引き機能	無・加算式・減算式	最大風袋引き量	
製造銘板等に表記された 重力加速度の範囲又は値 ※2	m/s^2 ～ m/s^2		
製造銘板等に表記された はかりの使用場所 ※3	(都道府県・市町村名)		
トラックスケールの場合、指示計の位 置から載せ台の状況が見えるか否か	直視できる ・ モニタで見られる ・ 見えない		

※1 過去に修理している場合、前回修理年月を記入する。(修理年月が不明の場合は、記入省略可。)

※2 目量の数が2,000以下の精度等級2級及び目量の数が6,000以下の精度等級3級のはかりの場合に記入する。

※3 精度等級1級、目量の数が2,000を超える精度等級2級及び目量の数が6,000を超える精度等級3級のはかりの場合に記入する。ただし、内蔵分銅によるスパン調整装置又は重力変化の影響を補正する装置を持つはかりは不要。

3 検定予定日・場所等

検定予定日時	令和 年 月 日 (曜日) :		
検定予備日	不要 ・ 必要 [令和 年 月 日 (曜日) :]		
検 定 場 所			
待合せ駅・場所	_____ 駅 ・ 現地	待合せ時間	_____ :

4 修理内容（※修理検定の場合、今回の修理内容を記入する。）

修 理 内 容 (概要)			
部 品 等 交 換	交換部品名等	交換前の型番	交換後の型番
※部品等交換がある 場合のみ記入する。			

(注1) 申請時点での修理内容で構いません。

(注2) 「修理(作業)報告書」の写しを提出してください。